

グローリア21介護実務者研修科（通信課程） 学則

（事業者の名称・所在地）

第 1 条 本研修は、次の事業者（以下、「本校」という。）が実施する。

設置者 株式会社 グローリアツウェンティーワン
所在地 名古屋市中川区打中2丁目105番地

（目的）

第 2 条 本校は、急激な超高齢化社会において、多様化する一人ひとりの介護ニーズに対応した質の高い介護サービスを提供するため、個別性を尊重した「人間の尊厳」を重視し、自己選択、自己決定、自己実現につなげる生活支援実践を、介護福祉専門職としての知識、技術、価値を身につけ、広く社会福祉に貢献できる生活支援者の育成を目的とする。

（研修事業の名称・位置・研修課程）

第 3 条 研修事業名称及び位置は、次の通りとする。

研修事業名称 グローリア21介護実務者研修科（通信課程）
位 置 名古屋市中川区打中2丁目105番地

（研修期間）

第 4 条 研修の開講期間は、以下の通りとし、各コースの修業年限は6ヶ月間とする。

学 級	最 低 修 業 年 限
3月生	3月1日 ～ 8月31日
4月生	4月1日 ～ 9月30日
5月生	5月1日 ～ 10月31日
6月生	6月1日 ～ 11月30日
7月生	7月1日 ～ 12月31日
8月生	8月1日 ～ 1月31日
9月生	9月1日 ～ 2月28日
10月生	10月1日 ～ 3月31日
11月生	11月1日 ～ 4月30日
12月生	12月1日 ～ 5月31日
1月生	1月1日 ～ 6月30日
2月生	2月1日 ～ 7月31日

(在籍期間)

第 5 条 在籍期間の最長は 2 年間とする。

(定員)

第 6 条 受講定員は、1 学級 40 名とする。1 年間の学級数は 12 学級とする。

(受講対象者)

第 7 条 受講対象者は記の条件を満たすものとする。

- (1) 介護福祉士の資格取得を目指している者。
- (2) 心身ともに健全であること。
- (3) その他、上記に該当しない場合、校長が入学を特別に許可した者

さらに、所持資格により、入学可能なコースは以下の通りとする。

(1) 71 時間コース

介護職員基礎研修を修了し、その修了を証明できる書類を研修申し込み時に提出していること。

(2) 116 時間コース

訪問介護員養成研修 1 級課程を修了し、その修了を証明できる書類を研修申し込み時に提出していること。

(3) 341 時間コース

訪問介護員養成研修 2 級課程または、初任者研修を修了し、その修了を証明できる書類を研修申し込み時に提出していること。

(4) 431 時間コース

生活援助従事者研修を修了し、その修了を証明できる書類を研修申し込み時に提出していること

(5) 441 時間コース

訪問介護員養成研修 3 級課程を修了し、その修了を証明できる書類を研修申し込み時に提出していること。

(6) 451 時間コース

介護に関する入門的研修を修了し、その修了を証明できる書類を研修申し込み時に提出していること。

(7) 471 時間コース

介護職員基礎研修、訪問介護員養成研修 1 級課程、訪問介護員 2 級課程、初任者研修のいずれも修了していない者、または、修了していることを証明する書類を研修申し込み時に提出していない者。

(実務者研修受講対象地域)

第 8 条 受講者対象地域は、全国とする。

(休業日)

第 9 条 本校の休業引き次の通りとする。ただし、校長が必要と認めた場合には、休業日を変更することがある。

- (1) 年末年始
- (2) 夏期休業日

第 10 条 原則、毎月 1 日を入学時期とする。

(受講生の申し込み手続き)

第 11 条 受講申込の手続きは次のとおりとする。

- (1) 本校指定の申込用紙に必要事項を記載し、その他の必要書類を添付して期日までに提出する。
- (3) 書類選考により受講予定者を決定後、受講決定通知にて本人に通知する。
- (4) 受講決定通知を受け取った受講予定者は、指定の期日までに受講料を納入する。
- (5) 本校は受講料の納入を確認した後、教材一式を発送する。

(受講申込締切)

第 12 条 申込締切日は開講日の 2 週間前とする。ただし、申込締切日以降でも、受講申込者が募集定員に達していない場合は、本校の判断により申込を受付けることができることとする。

(入学検定料および受講料)

第13条 入学検定料および受講料については以下の通りとする。

入学検定料 5000円(税込み)

受講料

取得資格	受講料
無資格 介護に関する入門的研修	138,000(テキスト代・税込み)
訪問介護員3級修了者 生活援助従事者研修	122,000(テキスト代・税込み)
訪問介護員2級修了者 介護職員初任者研修修了者	122,000(テキスト代・税込み)
訪問介護員1級	92,000(テキスト代・税込み)
介護職員基礎研修修了者	30,000(テキスト代・税込み)

(受講料の返還について)

第14条 納入された受講料は原則として返還しない。ただし、受講申込締切日前に受講辞退の申し出があった場合は規定に従い返還することとする。その際の振込手数料は受講予定者負担とする。

辞退申し出日	返還受講料
受講申し込み締め切り日まで	受講料の全額
受講申し込み締め切り日から開講日一週間前まで	受講料の半額
開講日2日前まで	受講料の20%
開講日以降	返金はしない

(受講料の手続き)

第15条 受講料は受講決定通知が届いてから原則14日以内に納入しなければならない。14日以内に納入が確認できない場合は、本校は受講辞退として取り扱うことができる。ただし、分割納入を希望する受講予定者は、あらかじめその旨を本校に申し出た上で行うことができる。分割回数は4回分割までとし、納入期日と金額は本校の指定に従うこととする。

(受講の決定)

第16条 受講予定者が受講決定通知を受け取った後、受講料の納入の確認をもって受講の決定とする。

（受講の手続き）

第17条 受講が決定した者は、次の書類を提出しなければならない。

（1）学籍簿

（2）訪問介護員3級、訪問介護員2級、訪問介護員1級、介護職員基礎研修 介護に関する入門的研修、生活援助従事者研修等の修了書の写し
（ただし、携帯用は不可）

（退学）

第18条 退学をしようとする受講生は、退学願を提出し本校の許可をえなければならない。

（休学）

第19条 受講生は、疾病その他やむを得ない理由により、修学することが出来ない場合は、本校の許可を得なければならない。この場合において、疾病によるときは、医師の診断書を添付しなければならない。

（復学）

第20条 休学していた者は、休学理由が消滅し復学しようとするときは、復学願を提出し、本校の許可を得なければならない。

（受講資格の取り消し）

第21条 次の各号に該当する者は、受講資格を取り消すことができる。

- （1）受講意欲が著しく欠けており、修了の見込みがない。または、本学則の目的に沿わないと本校が認めた者。
- （2）当研修の秩序を乱し、受講生として本分に反した者。
- （3）受講料支払いの規定に反した者。
- （4）その他、本学則の目的から逸脱した言動があったと本校が認めた者。

（研修カリキュラムおよび履修方法）

第22条 研修を修了するために履修しなければならないカリキュラムは別紙のとおりとする。また、科目の免除は別紙の科目免除一覧表のとおりとする。
研修カリキュラム履修方法は、レポートによる学習、レポートおよびスクーリングによる学習およびスクーリングによる学習の3つの方法とする。

（使用教材）

第23条 使用する教材は下記のとおりとする。

介護職員等実務者研修テキスト（中央法規出版）第1巻から第5巻

(教職員組織)

第24条 研修を実施するにあたり、次の教職員を置く。

- | | |
|---------------|-----|
| (1) 校長 | 1名 |
| (2) 副校長 | 1名 |
| (3) 教務主任 | 1名 |
| (4) 専任講師 | 1名 |
| (5) 講師(介護過程Ⅲ) | 若干名 |
| (6) 講師(医療的ケア) | 若干名 |
| (7) 講師(課題添削) | 若干名 |
| (8) 事務職員 | 1名 |

(卒業認定方法)

第25条 卒業の認定方法については次のとおりとする。

指定されたカリキュラムを全て履修し、受講料等未納がない者に対し、科目ごとに判定する。

(1) 通信課題

- ・本校講師による、レポートの添削を行い。評価を実施する。
- ・受講生からの質問等についても別紙の質問用紙にて担当講師が回答する。
- ・評価基準はA、B、C、Dの4段階で評価し、C以上の評価を取得したのものについて、当該科目を修了したものとみなす。
- ・通信課題について、1課題につき2回まで再試験料なしで再提出することができる。3回目以降は再試験料を必要とする。

(2) スクーリング科目

- ・演習中レポート及び実技の習得状況・理解等
- ・受講態度を総合的に評価し、判断する。

(3) 修了評価試験

受講した科目について総合的な問題を作成し、試験を実施する

- ・評価基準はA:85点以上、B:70~84点、C:60~69点、D:59点未満の4段階で評価し、C以上の評価を取得したのものについて、修了者として認められる。
- ・修了評価試験不合格の場合には追試を行う。追試は2回までとし、追試不合格の場合、4回目にレポートを提出し、合格しなければならない。

(4) 指定規則に定める時間数の2/3に満たないものについて履修認定をしないものとする。

(卒業)

第26条 第4条に規定する期間在籍し、第25条に規定する卒業認定を受けた者について卒業を認定する。

(欠席者の取り扱い)

第27条 遅刻・早退に関しては理由の如何にかかわらず欠席扱いとする。

(1) 面接スクーリングを欠席した者については、次期コースの面接スクーリングにて該当科目の補講を受けることができる。ただし、第5条に定める在籍期限を超過しないこととする。

(補講について)

第28条 やむを得ない事情で面接スクーリングの一部を欠席した場合は、次期コースにて補講(振替受講)を受けることによって、当該科目に出席したものとみなす。この場合、補講にかかる受講料は徴収しない。

(通信課題再提出料、再試験料、スクーリング科目再試験料)

第29条 通信課題レポートについて2回までは、再提出料を不要とする。ただし、3回目以降は、1回提出するごとに1科目につき2000円(税別)徴収する。また、修了評価試験不合格の者の追試料および追試レポートは、3,000円(税別)とする。また、スクーリング科目不合格者については、1科目につき20,000円(税別)を徴収する。

(修了証明書等の交付)

第30条 修了を認定された者(第25条による)は、本学において修了証明書を交付する。

(修了者の管理)

第31条 第25条の定めにより、研修を修了したことを認定され、修了証明書の授与を受けた者について本校は修了者台帳を作成し、氏名、住所、生年月日、修了年月日、修了番号等を記載して永年管理する。

(修了証明書の再交付)

第32条 修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再交付を行うことができる。ただし再交付手数料として2,000円(税別)を申し受けるものとし、受け取りは原則本人が本校に来校するものとする。

(個人情報の保護)

第33条 本校が本研修の受講にあたり知り得た受講予定者および受講生に係る個人情報は本校の定める個人情報保護規定に基づき、適切に取り扱うこととする。また、受講生は受講中に知り得た個人情報を他に漏洩してはならない。

(その他研修に係る留意事項)

第34条 天災その他やむを得ない事情により、研修の実施が困難と判断した場合には研修の中止又は延期の措置をとることとする。この場合、新たな日程を設定するなど受講者の不利益にならないよう最善の措置を講じることとする。

(施行細則)

第35条 この学則に必要な細則並びにこの学則に定めない事項で必要があると認められる場合は別途本校がこれを定める。

(附則)

第36条 学則施行：平成28年3月1日
なお本学側は平成31年3月31日より変更する。

実務者研修カリキュラム

※すでにをお持ちのお資格により、コース(免除科目の有無)や金額が異なります。ご確認ください。												
カリキュラム	指定規則 時間	時間	471時間 コース	451時間 コース	441時間 コース	431時間 コース	341時間 コース	341時間 コース	116時間 コース	71時間 コース	その他 全国研修	
			無資格者	介護に 関する 入門的 研修	訪問介護員 3級	生活援助 従事者研修	訪問介護員 2級	介護職員 初任者研修	訪問介護員 1級	介護職員 基礎研修	免除科目欄に 研修名記載	
人間と社会	人間の尊厳と自立	5時間	5時間	課題レポート	課題レポート	免除	免除	免除	免除	免除	免除	
	社会の理解Ⅰ	5時間	5時間	課題レポート	課題レポート	免除	免除	免除	免除	免除	免除	
	社会の理解Ⅱ	30時間	30時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	免除	免除	
介護	介護の基本Ⅰ	10時間	10時間	課題レポート	課題レポート	免除	免除	免除	免除	免除	免除	
	介護の基本Ⅱ	20時間	20時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	免除	課題レポート	免除	免除	
	コミュニケーション技術	20時間	20時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	免除	免除	
	生活支援技術Ⅰ	20時間	20時間	課題レポート	課題レポート	免除	課題レポート	免除	免除	免除	免除	
	生活支援技術Ⅱ	30時間	30時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	免除	免除	免除	免除	
	介護過程Ⅰ	20時間	20時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	免除	免除	免除	免除	
	介護過程Ⅱ	25時間	25時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	免除	免除	
介護	介護過程Ⅲ	45時間	45時間	スクーリング	スクーリング	スクーリング	スクーリング	スクーリング	スクーリング	スクーリング	免除	
こころ からの しぐみ	発達と老化の理解Ⅰ	10時間	10時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	免除	免除	
	発達と老化の理解Ⅱ	20時間	20時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	免除	免除	
	認知症の理解Ⅰ	10時間	10時間	課題レポート	免除	課題レポート	免除	課題レポート	免除	免除	免除	認知症 実践者研修
	認知症の理解Ⅱ	20時間	20時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	免除	免除	認知症 実践者研修
	障害の理解Ⅰ	10時間	10時間	課題レポート	免除	課題レポート	免除	課題レポート	免除	免除	免除	
	障害の理解Ⅱ	20時間	20時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	免除	免除	
	こころからのしぐみⅠ	20時間	20時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	免除	免除	免除	免除	
	こころからのしぐみⅡ	60時間	60時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	免除	免除	
医療的ケア	医療的ケア	50時間	50時間	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	課題レポート	喀痰吸引等 研修 (第1号・2号)
医療的ケア	医療的ケア(演習)		21時間	スクーリング	スクーリング	スクーリング	スクーリング	スクーリング	スクーリング	スクーリング	スクーリング	
合計		450時間	471時間	471時間	451時間	441時間	431時間	341時間	341時間	116時間	71時間	